

事業シート(令和4年度決算)

02\_危機管理課\_1

事業名	20120 訟務事務費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性		市長公約
			款	2	総務費		まちづくり戦略		
			項	1	総務管理費				
			目	1	一般管理費		根拠計画		
担当課	市長公室 危機管理課	内線	2466						

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・法律の専門家への相談体制を構築し、公正な公務の確保と係争行政基盤の強化を図る。	概要	・顧問弁護士を設置し、公務に係る法律問題の相談を行う。 ・行政訴訟においては弁護士を訴訟代理人に立て対応する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R3			R4		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	3,690	2,185	3,690	3,690	2,366	181
特定財源						
国費( )						
県費( )						
その他( )						
一般財源	3,690	2,185	3,690	3,690	2,366	181
個票枝番	主な事業内容					
	訟務事務	3,690	2,185	3,690	2,366	181

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額	-
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
3,686	3,690	3,690	0
査定額	説明		
3,690			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・顧問弁護士を設置し、公務に係る法律問題の相談体制を構築した。(相談回数59回) ・行政裁判の訴訟代理人を委託した。(1件)
評価等	・顧問弁護士への相談結果を記録し担当課と共有することで、公平・公正な行政運営の実現と職員の法制能力の向上に努めた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定 ・行政活動に係る法的紛争を未然に防止するため、顧問弁護士相談の活用をすすめる。

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・顧問弁護士を設置し、公務に係る法律問題の相談体制を構築した。(相談回数41回) ・行政裁判の訴訟代理人を委託した。(1件)
評価等	・顧問弁護士への相談結果を記録し担当課と共有することで、公平・公正な行政運営の実現と職員の法制能力の向上に努めた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定 ・行政活動に係る法的紛争を未然に防止するため、顧問弁護士相談の活用をすすめる。

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

02\_危機管理課\_1

20120

事業シート(令和4年度決算)

事業名	21300 総合防災訓練事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化	
			項	1	総務管理費		根拠計画		地域防災計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	13	災害対策本部費					
担当課	市長公室 危機管理課	内線	2466							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・防災訓練を通じて地域の防災力を向上させるとともに、市民の防災意識の高揚を図る。	概要	・総合防災訓練(9月) ・土砂災害・全国防災訓練(6月) ・火山防災訓練(11月)
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
地域防災リーダーがいる町内会の割合	68.55%	70.32%	—
災害時応援協定締結団体数	99団体	100団体	—

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R3			R4		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		3,150	765	3,800	3,800	2,619	1,854
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他( )						
一般財源		3,150	765	3,800	3,800	2,619	1,854
個票枝番	主な事業内容						
	総合防災訓練等の実施	3,150	765	3,800	3,800	2,619	1,854

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		3,900
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
4,172	3,800	3,800	0	
4,172	3,800	3,800	0	
査定額	説明			
3,800				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・総合防災訓練は、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言を受け主要訓練を中止し、全市民を対象にしたシェイクアウト訓練を実施した。 ・土砂災害防災訓練は、新型コロナウイルス感染症拡大のため主要訓練を中止し、久々野地区で関係町内会との情報伝達訓練を実施した。(5町内会) ・奥飛騨温泉郷地域を対象に焼岳噴火を想定した火山防災訓練を実施した。(参加者61名)
評価等	・総合防災訓練及び土砂災害防災訓練は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で主要訓練は中止となったが、シェイクアウト訓練や情報伝達訓練などにより、市民の災害初動体制の確認を行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定 ・実践的な防災訓練を実施するなど、市民の防災意識の維持・高揚を図る。

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・本庁、花里小学校及び各支所において住民避難訓練をはじめとする総合防災訓練を実施した。(参加者1,656名) ・丹生川町旗鉢、岩井谷地区で土砂災害防災訓練を実施した。(参加者125名) ・奥飛騨温泉郷地域を対象に焼岳噴火を想定した火山防災訓練を実施した。(参加者347名)
評価等	・住民避難訓練、避難所運営訓練、発災型対応訓練など住民参加型の実践的な訓練を行い、市民の防災意識の高揚と知識・技術の向上を図った。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定 ・実践的な防災訓練を実施するなど、市民の防災意識の維持・高揚を図る。

担当課 予算要求 ポイント	・総合防災訓練の実施に必要な経費を計上 ・土砂災害・火山防災訓練の実施に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和4年度決算)

事業名	21310 災害対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化		
			項	1	総務管理費		根拠計画				地域防災計画、国土強靱化地域計画、過疎地域持続的発展計画
			目	13	災害対策本部費						
担当課	市長公室 危機管理課	内線	2466								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・自然災害発生時に市民の生命や財産を守る総合的な防災体制を構築する。	概要	・防災行政無線、防災ラジオ等による多様な情報伝達手段を確保する。 ・防災備蓄品の計画的な購入をすすめる。 ・災害時応援協定の締結により防災体制を充実させる。
----	------------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
地域防災リーダーがいる町内会の割合	68.55%	70.32%	—
災害時応援協定締結団体数	99団体	100団体	—

2.事業の実施結果等(Do)

		R3			R4		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		120,320	108,910	102,296	118,546	105,113	△ 3,797
特定財源	国費 ( 災害対策事業費 補助率(1/2) )		1,150				△ 1,150
	県費 ( ライフライン保全対策事業費 補助率(1/2等) 等 )	5,500	5,476	5,000	5,000	3,760	△ 1,716
	その他( 夢・まちづくり基金収入、防災行政無線施設使用料 等 )	33,192	25,217	29,567	29,567	19,957	△ 5,260
一般財源		81,628	77,067	67,729	83,979	81,396	4,329
個票枝番	主な事業内容						
	自動起動防災ラジオ普及	8,000	7,189	7,500	7,500	7,004	△ 185
	地域防災リーダーの育成	900	1,006	900	900	1,006	0
	備蓄物資等購入	10,900	9,952	10,000	10,000	9,522	△ 430
	ライフライン保全対策事業	22,000	18,218	20,000	20,000	12,798	△ 5,420
	防災備蓄倉庫の設置	2,300	1,218				△ 1,218
	ハザードマップの作成	3,300	3,275				△ 3,275
	防災行政無線免許更新(法定)			4,800	4,800	1,631	1,631

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		108,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
138,345	134,512	134,512	32,216	
6,713	6,800	6,800	6,800	
3,808	3,700	3,700	△ 1,300	
24,787	31,259	66,259	36,692	
103,037	92,753	57,753	△ 9,976	
査定額	説明			
18,000	無償貸与対象者の拡大による増			
900				
10,000				
11,500				
27,300				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本防災士機構のカリキュラムに即した防災リーダー育成講座を開催した。(参加者43名)</li> <li>・災害対策用備品・備蓄用食糧等を購入した。(防災備蓄倉庫、ポータブル電源、LEDスタンド照明等)</li> <li>・道路沿線立木の伐採によるライフライン保全対策として、立木の伐採等を実施した。(立木伐採12路線)</li> <li>・法定河川である宮川及び荒城川について、想定最大規模降雨の洪水ハザードマップを作成した。(3万部)</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災リーダーの育成により、地域防災力の向上を図った。</li> <li>・避難所生活環境の向上を図った。</li> <li>・災害に備え、ライフラインの保全対策を図った。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の防災リーダーを育成するための研修、訓練を継続して実施する。</li> <li>・避難所における災害対応備品の充実を図る。</li> <li>・引き続きライフラインの保全対策を図る。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本防災士機構のカリキュラムに即した防災リーダー育成講座を開催した。(参加者41名)</li> <li>・災害対策用備品・備蓄用食糧等を購入した。(発動発電機、ポータブル電源、LEDスタンド照明等)</li> <li>・道路沿線立木の伐採によるライフライン保全対策として、立木の伐採等を実施した。(立木伐採2路線)</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災リーダーの育成により、地域防災力の向上を図った。</li> <li>・避難所生活環境の向上を図った。</li> <li>・災害に備え、ライフラインの保全対策を図った。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の防災リーダーを育成するための研修、訓練を継続して実施する。</li> <li>・避難所における災害対応備品の充実を図る。</li> <li>・引き続きライフラインの保全対策を図る。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R4完了
- R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフライン保全対策に必要な経費を計上</li> <li>・防災ラジオ普及に必要な経費を計上</li> <li>・ハザードマップ作成に必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり